

第118回銀行業務検定試験「年金アドバイザー3級」団体最優秀賞受賞

株式会社ゆうちょ銀行
「最も身近で信頼される銀行」を目指して

今回は、2011年3月6日に実施いたしました第118回銀行業務検定試験「年金アドバイザー3級」において、団体最優秀賞を受賞されました、株式会社ゆうちょ銀行にお話を伺いました。

株式会社ゆうちょ銀行は、持株会社である日本郵政株式会社のグループ企業として、2006年9月に株式会社ゆうちょとして設立され、2007年10月に株式会社ゆうちょ銀行と商号変更されました。
現在、社員数は約12,000人、233か所の直営店を持ち、全国の郵便局とのネットワークを通じて、お客さまに最も身近で信頼される金融機関を目指しています。
今回、快く取材に応じてくださったのは、専務執行役員の池田修一さんです。

●団体最優秀賞受賞について

ゆうちょ銀行では、年金知識向上のため2009年度から年金アドバイザー3級資格の取得を推奨しているそうです。

今回の年金アドバイザー3級の団体最優秀賞の受賞について感想をお伺いしたところ、「大変嬉しく思っています。社員は、お客さまと日々接している中で、高齢化社会における年金知識習得の重要性を強く感じています。今回の受賞は、そうした思いを持って学習に励んだ成果だと思えます」とおっしゃっていました。

また、「受賞についてはグループ内の情報誌に掲載し、グループ内全社員にお知らせすることにしており、これを励みに一層のサービス向上につなげていきたい」ともおっしゃっていました。

団体での受験を決めた理由としては、「お客さまからの年金相談に的確に対応できるよう、社員の年金知識の向上を図りたいとの考えから、2009年度に、各店舗で年金相談等の中心的役割を担う社員を対象に資格取得を推奨したのがきっかけ」とのことです。

年金アドバイザー3級資格合格へのチャレンジが、うってつけの学習の場となったようです。

●学習方法について

今回、団体受験された受験者に対して、ゆうちょ銀行は全員に支援を行っています。

支援対象者には、経済法令研究会の「問題解説集 年金アドバイザー3級」と研修用に作成した教材を配布し、繰り返し学習するように促したところ、ポイントが絞られており、知識の整理と受験対策に大変好評であったとのこと。

さらに、支援対象者には、社会保険労務士を講師に受験対策講座を開講されたとのこと。受講者からは、「直前対策として非常に役立った」「実施したタイミング(試験日の3~4週間前)がよかった」と好評だったようです。

2011年度も、引き続き学習教材の提供、受験対策講座の開講などの支援策を行っていく予定で、今回残念ながら不合格となった社員や未受験の社員も含めて、さらに、年金アドバイザー3級の合格者を増やしていきたいお考えのようです。

●銀行業務検定試験、その他資格試験への取組みについて

ゆうちょ銀行では、社員のキャリアアップ支援を目的として、毎年、通信教育講座を開講し、社内で受講希望者を募集しているそうです。

年金アドバイザー3級取得施策の支援対象者以外の社員も、希望すればこの制度での支援を受けられるそうで、取得支援を行う資格も、銀行業務検定のほか、FP技能士や日商簿記検定など様々とのこと。

池田専務は、「こうした社内制度の活用や銀行業務検定等の資格試験へのチャレンジを通じて、金融のプロとして必要な知識を幅広く習得していくことが必要」とおっしゃっていました。

●ゆうちょ銀行に求められる役割と人材育成について

最後に、ゆうちょ銀行に求められる役割と人材育成について伺いました。

池田専務は「ゆうちょ銀行に求められるのは、お客さまのニーズに的確にお応えしていくことだと思っています。全国に展開する郵便局ネットワークを通じて、より多くのお客さまに総合的な金融サービスをご提供する『最も身近で信頼される銀行』を目指していきたいと思えます。社員は、それを実践できるような能力を身に着けなければいけませんので、不断に専門性の向上を図るよう努めることを望んでいます。今回の団体最優秀賞受賞を励みに、お客さまサービスの向上のためにさらに社員の知識向上に取り組んでいきます」と語ってくださいました。

(お忙しいなか、取材に真摯にご対応くださいました池田専務に心より感謝申し上げます)



▲株式会社ゆうちょ銀行 本社